

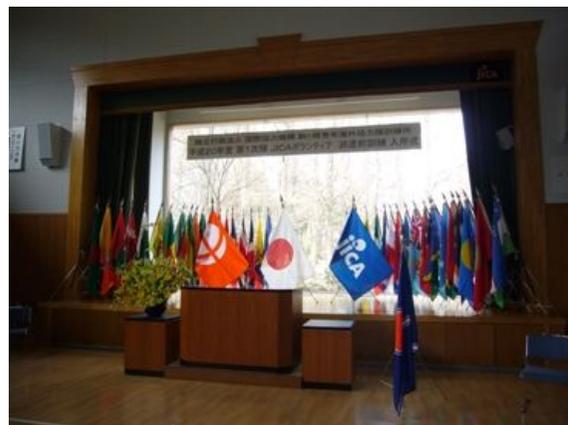
ベナンの風便り

2008年4月号

みなさんお久しぶりです。青年海外協力隊の隊員としてベナン共和国に派遣される予定の赤石です。6月中旬まで長野県の駒ケ根市で65日間の訓練を受け、6月下旬にベナン共和国に出発します。これから少しずつ訓練の様子やベナン共和国についてお伝えしていきたいと思います。

まず今回私が派遣されることになった青年海外協力隊とは、開発途上国の人々のために、自分の能力や経験を生かしてみたいという人を応援するプログラムです。現地の人々と共に、同じ言葉を話し、同じ家に住み、同じものを食べながら、その国の人造り、国造りに協力する草の根レベルのボランティア活動です。派遣先は世界約70カ国で、現地で活動する期間は2年間です。派遣は年に4回行われており、長野県の駒ケ根と福島県の本松に分かれて訓練を受けます。

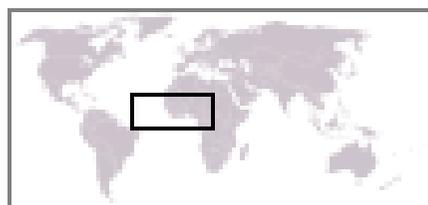
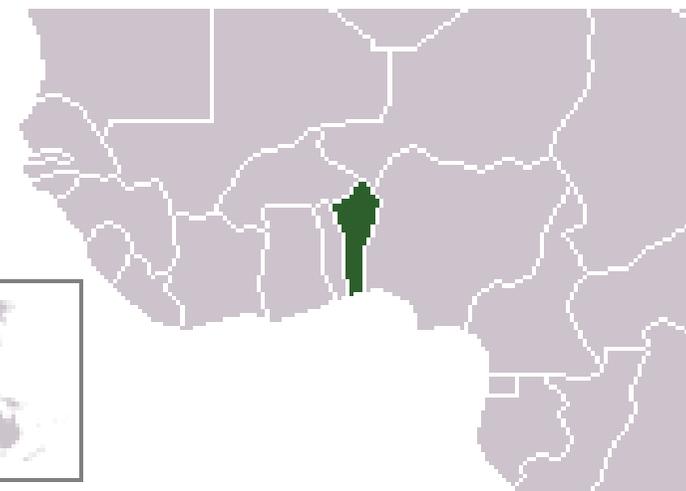
訓練の内容は約7割が語学で、その他は国際協力をしていく上での講座などです。現在223名の志を同じくする候補生たちが、毎日の学習に励んでいます。私が派遣されるベナン共和国では約50もの現地語が話されているようですが、その統一の言語である公用語はフランス語です。なので今はフランス語の猛勉強中です。久しぶりに生徒として毎日授業を受けていますが、違う言葉を覚えるのは本当に大変です。しかし4~6人という少人数でネイティブの先生に教えてもらえるというとてもありがたい環境の中、1日あたり50分×5コマの語学授業+各種講座2時間+語学自習約4時間というハードな毎日をこなしています。そのような環境の中、語学習得にとって大切なのは「与えられたものを消化するだけでなく、常に自ら学ぶ積極的な姿勢を持つこと。」「必ず声に出してその日の復習、反復練習をすること。」「クラスの雰囲気は成果を左右するので、各自が良い雰囲気づくりに努めること。」と言われていました。みなさんにも大いに関係することだと思うので、意識してみてくださいね。それではまた！



入所式会場。世界各国の国旗が舞台に並びます。

ベナン共和国って？

人口	約 8,700,000 人
面積	約 115,000 km ² (日本の約 3 分の 1)
時差	日本との時差はマイナス 8 時間
人種	フォン民族、ヨルバ民族、アジャ民族、など 40 以上の民族
言語	公用語はフランス語、その他フォン語、ヨルバ語など各民族の言語
宗教	ヴードゥー教約 65%、キリスト教約 20%、イスラム教約 15%
主要産業	農業 (綿花、パームオイル)、サービス業 (港湾業)
気候	雨季と乾季



訓練所周辺の景色です。4月下旬ですが、山にはまだ雪が残っています。



朝の集いでは毎日様々な国旗が掲揚されます。写真はベナンの国旗。Tシャツ大活躍です。